

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社キンレイ大阪工場	階数	地上2F
建設地	岸和田市岸之浦町12-1	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	6,480 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年4月9日
敷地面積	15,166 m <sup>2</sup>	作成者	浦田 明
建築面積	8,161 m <sup>2</sup>	確認日	2016年4月23日
延床面積	11,764 m <sup>2</sup>	確認者	浦田 明



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	作業動線を明確にしシンプルなレイアウト構成とした。	<b>その他</b> 道路面に対しセットバックを行うことにより圧迫感の軽減を考慮した。
<b>Q1 室内環境</b>	作業エリアの壁、天井にパネル材を採用し遮音性を高める。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地道路面に対し緑地を緩衝帯となるよう配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	デマンド管理を行う。	<b>LR3 敷地外環境</b> 食品残渣室(ごみ置場)を建物に内包した。
<b>Q2 サービス性能</b>	排気ダクトにステンレスを採用、設備配管に耐久性が高い材料を採用。空調設備にインバータを採用。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水コマ、泡沫水栓、節水器具等節水対策を行う。内装にリサイクル材を使用。主フレームが鉄骨、内装材にパネル材を使用し分別可能とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0018

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	株式会社キンレイ大阪工場					
		建設地	岸和田市岸之浦町12-1					
		用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★★				B-		
	CO2削減	★★★★★				3		
	省エネ対策	★★★★★				3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★				2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.1	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					2.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								